

国際大学村ニュースレター

～ 国際研究交流大学村 ～

No. 3 2000 Feb.

国際大学村に期待する



東京外国語大学

学長 中嶋 嶺 雄

臨海副都心の国際研究交流大学村建設予定地に、いよいよ槌音が響きわたり始めました。2001年という新世紀初頭を飾るにふさわしい国家プロジェクトの第一段階がスタートしたと言えましょう。

国際研究交流大学村を構成する、留学生・研究者のための知的生活・交流空間、科学技術の情報発信機能を担う「科学技術理解増進推進拠点（仮称）」、国際研究交流拠点となる「オープンスペースラボ（仮称）」が間もなく特色ある姿を現すでしょう。

よく言われるように人、モノ、カネ、情報が国境を越えて自由に、かつ大規模に移動するグローバル化が既に与件となっています。私たちは、個々の人間として、また、日本という国としてこのような時代をよりよく生きるために必要な準備をしなくてはなりません。

グローバル化の時代は、特に経済面における大競争の時代でもあります。このような時代を制することができるのは、知的資産をよりよく創出し、活用することができる国民・国家です。

我が国は、知的資産の創出・活用により国の繁栄を維持するとともに、それを国際的に発信することにより、世界の平和と安定に積極的に貢献していくべきだと思います。

国際研究交流大学村には、このような知的資産創出とともに、知的交流を通じてそれを発信していく拠点となることが期待されています。

諸施設の建設により、新しい真っ白いキャンパスが準備されます。

ここにどのような知的活動・発信拠点を描いていくかは、これからの課題です。

知的活動の担い手は、言うまでもなく人です。したがって、国際研究交流大学村には、世界をリードするような研究者や各国の将来を担うような若者が集うことが必要です。そのためには、このような人材を引き付けることができるような事業・プログラムを用意しなければなりません。例えば、諸外国の将来を担う学生を集めて、世界の一流の教授陣、我が国が誇る経済人らによる英語の授業プログラムを実施してはどうでしょうか。

いずれにせよ、国際研究交流大学村の本当の絵を描くのはこれからです。知的活動・発信拠点にふさわしい事業・プログラムが展開されますよう関係者の一層のご尽力に期待しております。

国際大学村工事始まる

国際大学村の建設は、「留学生・研究者宿舎等」及び「科学技術理解増進推進拠点（仮称）」については、次ページのとおり、建築工事と設備（電気、機械等）工事のすべてに請負者が決定し、それぞれ、本格的に工事が開始されました。

建設地は、埋め立て地ですので、液状化等対策としての地盤改良工事（中空管を振動させ、砂を地中に注入し、貫入・引抜き・打戻しを繰り返し、地盤中に「よく締まった砂杭」を造成する工事）を行った上で、杭打ち工事へと進んでいます。

請負者は、留学生・研究者宿舎等で25社、科学技術理解増進推進拠点（仮称）で19社と、多数の企業による、共同作業ですので、相互の連絡調整等に留意し、円滑、かつ、安全な工事を進めるよう努めています。

なお、「オープンスペースラボ（仮称）」の工事につきましても、3月に入札が行われ、工事が開始される予定であり、国際大学村の建設現場は、一段と活気付いてきました。

地盤改良工事・杭打設工事を施工中の 国際大学村建設現場

[平成12年1月21日撮影]

留学生・研究者宿舎等建設現場

科学技術理解増進推進拠点（仮称）建設現場

オープンスペースラボ（仮称）建設予定地

[テレコムセンターより撮影]



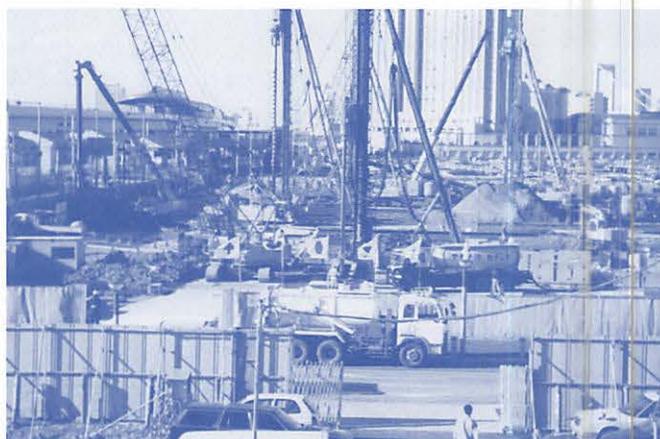
現場事務所

[タイム24より撮影]



留学生・研究者宿舎等建設現場

[現場事務所より撮影]



国際大学村の建設工事請負者等について

留学生・研究者宿舎等

〔(財) 日本国際教育協会〕

◎留学生・研究者宿舎等工事監理業務の受託者

建築工事監理：

石本・教育施設・佐藤 J V
(代表者 (株) 石本建築事務所)

設備工事監理：

(株) 建築設備設計研究所・(株) 総合
設備計画・(株) 桜井システム J V
(代表者 (株) 建築設備設計研究所)

◎留学生・研究者宿舎等建築工事の請負者

I 工区：鹿島・東急・東洋 J V
(代表者 鹿島建設 (株))

II 工区：フジタ・佐藤・青木 J V
(代表者 (株) フジタ)

III 工区：大林・銭高・ベクテル J V
(代表者 (株) 大林組)

IV 工区：三井・鉄建・大本組 J V
(代表者 三井建設 (株))

◎留学生・研究者宿舎等設備工事の請負者

電気 (I 工区)：トーエネック・日鉄・北海 J V
(代表者 (株) トーエネック)

電気 (II 工区)：(株) 中電工

電気 (III 工区)：(株) 三和エレクトリック

電気 (IV 工区)：(株) 新和電工

機械 (I 工区)：高砂・大成設・川崎 J V
(代表者 高砂熱学工業 (株))

機械 (II 工区)：ダイダン (株)

機械 (III 工区)：(株) 朝日工業社

機械 (IV 工区)：大成温調 (株)

昇 降 機：(株) 東芝

科学技術理解増進推進拠点 (仮称)

〔科学技術振興事業団〕

◎科学技術理解増進推進拠点 (仮称) 監理業務の受託者

日建設計・久米設計 J V

◎科学技術理解増進推進拠点 (仮称) 建築工事の請負者

I 工区：竹中・飛島・五洋 J V
(代表者 (株) 竹中工務店)

II 工区：大成・安藤・東亜 J V
(代表者 大成建設 (株))

III 工区：清水・鴻池・東亜 J V
(代表者 清水建設 (株))

IV 工区：西松・アイサワ J V
(代表者 西松建設 (株))

◎科学技術理解増進推進拠点 (仮称) 設備工事の請負者

電 気：関電工・六興・雄電 J V
(代表者 (株) 関電工)

給排水衛生：須賀・一工 J V
(代表者 須賀工業 (株))

空 気 調 和：新菱・三機・大気 J V
(代表者 新菱冷熱工業 (株))

オープンスペースラボ (仮称)

〔工業技術院〕

◎国際産学官連携 O S L (仮称) 建築工事発注情報

入札公示 (官報)：平成12年1月28日(金)

入札日：平成12年3月9日(木)

1 工区 工事内容：鉄骨造地上5階建，建築面積
約2,198㎡，延べ面積 約8,645㎡

2 工区 工事内容：鉄骨造地上5階建，建築面積
約1,971㎡，延べ面積 約6,388㎡

(注) J V：共同企業体

最近の臨海副都心の状況 (東京都)

都市景観大賞を受賞

建設省では、美しい都市景観が創出されることを目的として、10月4日を「都市景観の日」と定め、平成3年度から、良好な都市空間が培われている地域や地区等を選定し、表彰しています。平成11年度は、臨海副都心の景観が「都市景観100選」の部門で、都市景観大賞を受賞しました。



進出希望事業者を受付中

東京都では、臨海副都心地域への進出を希望する事業者を、原則、2段階の公募方式により募集しています。始めに、進出を希望する事業者を募り、登録し、次に、登録事業者の進出希望区画や事業構想を把握した上で、順次、区画ごとに公募を行います。現在、新たな3区画を追加し、平成12年3月29日まで第二次公募の追加登録の申し込みを受け付けています。また、青海E街区について、暫定利用の進出希望事業者の登録の申し込みを、同日程で受け付けています。

<http://www.tokyoinfo.or.jp/~rinkai/>

建設中の建築施設

現在、臨海副都心地域内で、国際大学村を除く建設中の建築施設は7棟あります。住宅施設では、台場1街区に3棟あり、711戸の賃貸住宅を建設中です。本年3月に都営住宅棟32戸と公社住宅棟310戸が、同12月には公団住宅棟369戸が竣工予定です。商業・娯楽施設は、本年4月にシネマコンプレックスを中心とした「アクアシティお台場」が、同12月には既に開業している「デックス東京ビーチ」の2期（増築）部分がオープンを予定しています。業務施設では、本年6月に東京税関や東京海上保安部等の入居が予定されている東京港湾合同庁舎が、来年3月には日商岩井（株）本社ビルが竣工を予定しています。

臨海副都心カウントダウン2000 in お台場を開催

お台場海浜公園において、石原慎太郎都知事や

巨人軍の長嶋茂雄監督、タレントで映画監督の北野武さんほかと、約2万5000人の観衆が参加して、新しいミレニアムを迎えるカウントダウンを行いました。2000年が開けた瞬間は、打ち上げ花火と消防艇による一斉放水が行われ、ミレニアムの到来を祝いました。



ウェルカムカードの創設

(社)東京コンベンション・ビジターズビューローでは、東京を活力に溢れた『千客万来の国際交流都市』にするため、東京シティセールス・キャンペーンの一環として、来訪客に対する歓迎の気持ちを表す「臨海副都心ウェルカムカード」を創設しました。ウェルカムカードを、臨海副都心の商業施設、展望台、ホテル等の参加施設において提示することにより、割引や特典を受けることができます。初年度の11年度は、外国人訪都客を対象に、平成12年3月31日まで有効のカード1万部を、都内開催の国際会議、東京都や民間企業の海外事務所、都内のホテル等で無料配付しています。

編集後記

国際大学村の建設工事が本格化して参りました。本号では、建設工事の現場の様子をご紹介しました。建設工事を請け負う各企業は緊密な連携のもと精力的に工事に取り組んでいます。また、臨海副都心の最近の状況等を東京都港湾局開発部臨海副都心開発推進室からご紹介していただきました。引き続き、国際大学村の建設にご理解とご支援をお願いします。おわりに、国際大学村の運営等に関する懇談会座長の佐藤誠三郎先生（政策研究大学院大学副学長）が去る11月に急逝されました。国際大学村には特別な思い入れがおりその完成を見る前にお亡くなりになられたことは誠に残念です。ご冥福をお祈りいたします。

財団法人 日本国際教育協会
Association of International Education, Japan
Tel. 03-5454-5211 / Fax. 03-5454-5231

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29
4-5-29 Komaba, Meguro-ku, Tokyo 153-8503
AIEJ Home Page <http://www.aiej.or.jp/>
E-Mail iuv@aije.or.jp